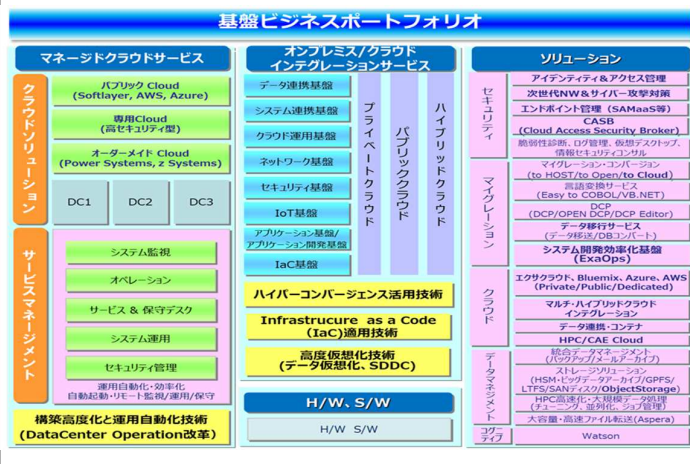


# 基盤キーテクノロジーへの取り組み (基盤ビジネスポートフォリオ活動)

昨今、新しいテクノロジーや手法の出現が続く中、企業においても先進テクノロジーの利用が拡大化し、基盤領域への具体的な適用が始まっている。当本部は、そのための『旧来からのテクノロジーに加え、新しいテクノロジーを組み合わせた』新たなソリューション創りを推進している。

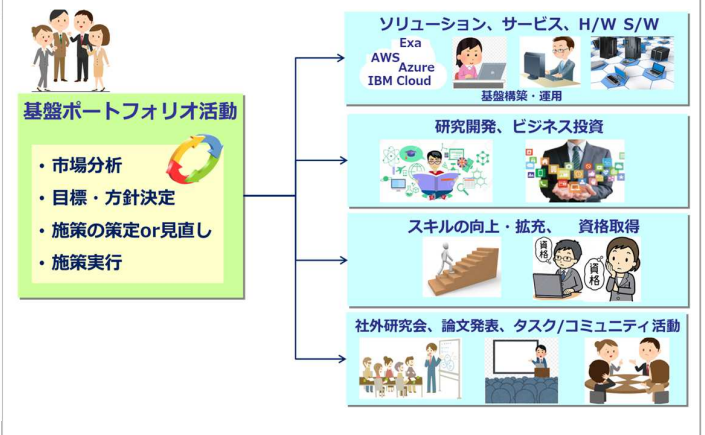
## 【背景】

現在のビジネスを支える「モード1」領域の**変革**と次のビジネスを支える「モード2」の領域への**チャレンジ**の双方の視点で新たなポートフォリオを創造する。



## 【推進アプローチ】

基盤ビジネスポートフォリオは、7つの技術エリアに対して、常に最新動向を把握するための市場分析を行い、研究開発、ソリューション、アセット化の推進している。



## 【基盤ビジネスポートフォリオの活動イメージ】

- ▶ ビジネス戦略とソリューションングをバランスよく検討し、そのビジネスモデルをビジネスに展開
- ▶ ビジネス戦略策定を営業チーム、ソリューションングを開発チームと位置づけ活動を推進



SoR (モード1) 領域	SoE (モード2) 領域
<b>自動化・コード化技術</b> RPAの普及 → 国内企業は小さく始め大きく広がる → Stage1の顕著的な普及 → Stage2の大手先進企業への普及 コード化 → Ansibleの充実度はChef, Puppet → 市場の勢いは Ansible > Chef → 学習コストは、Ansible, Saltstack 低い <b>マイグレーション</b> ■ リバース → MF老朽化による大規模案件は縮小傾向 (リライアント) ■ リライト → MF向けCOBOL to JAVAなどの大規模案件が増えつつある ■ ラッピング (UI改良) → AS400/RPGなど対象 ■ オープンプラットフォーム移行 → オープン化はLinux中心 <b>セキュリティ</b> ■ サイバー攻撃対策の需要 → 多層防御(出口・入口対策、端末防衛) ■ クラウドとオンプレミスの認識連携 携帯需要拡大 → HybridCloud拡大 ■ CASBやMSSの利用拡大	<b>インフラ・ストレージ</b> ■ サーバ・ストレージ市場の拡大 → AI、機械学習などデータ処理需要の増加 → HybridCloudへ需要拡大 ■ データマネージメント領域の拡大 → データレイクの具体化 → データ活用(デジタルビジネス変革) <b>クラウド</b> ■ クラウドが企業にとってマストに → モド1/2共にクラウド中心に拡大 ■ コーザ生者のクラウド化 → S1ビジネス衰退(特に基盤領域) → ユーザが離れ、弱いクラウド → 自由度、スピードがキー ■ デジタルビジネス発展 → IT as a Serviceの発展 <b>セキュリティ</b> ■ CASBやMSSの利用拡大
<b>コグニティブ</b> ■ ChatBotの拡大 → 顧客サービス/サポート業務で拡大 → AIアシスタントの拡大 ■ AI Ops → Bigdataと機械学習を合わせた監視、セキュリティ、自動化の連携 ■ 画像・音声認識 → DeepLearning技術を利用したサービス拡大 ■ AI Platform → AI処理によるGPUOnCloud需要 データ処理需要増 <b>IoT・Analytics</b> ■ IoT市場は年平均成長率 14.9% → 産業向けプラットフォームの拡大 → AIによる自律的メンテナンス ■ Bigdata → データを管理するため投資倍増 → データ品質管理市場の急成長 ■ Analytics → 4th/5thデータドリブン型に注力 Azure, AWSの成長 ■ Hybrid化 → 加えてプラットフォームによるデータ活用	<b>IoT・Analytics</b> ■ IoT市場は年平均成長率 14.9% → 産業向けプラットフォームの拡大 → AIによる自律的メンテナンス ■ Bigdata → データを管理するため投資倍増 → データ品質管理市場の急成長 ■ Analytics → 4th/5thデータドリブン型に注力 Azure, AWSの成長 ■ Hybrid化 → 加えてプラットフォームによるデータ活用

## エクサ型のAI Ops事例(実装推進中)



左は、基盤ポートフォリオ活動の一例であり、エクサ型のAI Opsにより、システムの高品質化とプロアクティブなシステムオペレーションの実現を目指している。

基盤営業本部 神村道隆  
基盤システム本部 月岡鉄三、鶴巻浩

「本資料に記載されているロゴ、システム名称、企業名称、製品名称は各社の登録商標または商標です。」